平成22年度の予算と主な事業

平成 22 年度一般会計予算および特別会計予算が、３月定例議会において成立しました。
一般会計予算額は、165 億 2,800 万円で、前年度の予算額 148 億 4,900 万円より、11.3%の増と大きな伸びとなっています。
ただし、前年度は市長の任期満了の年だったため、当初予算を、新規事業や政策的な経費を極力抑えた「骨格予算」として編成していました。
よって、肉付けを行った６月補正後の前年度予算額 161 億 3,972 万 9 千円と比較してみると、2.4%の増となります。

一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、前年度（63 億 1,467 万円）から 3.1%の減となっており、地方交付税については、前年度（34 億 8,300 万円）から 5.6%の増となります。
また、臨時財政対策債が大幅に増となったため、市債は前年度（12 億 875 万円）から 21.6%増と大きな伸びを示しています。（前年度 6 月補正後予算との比較）

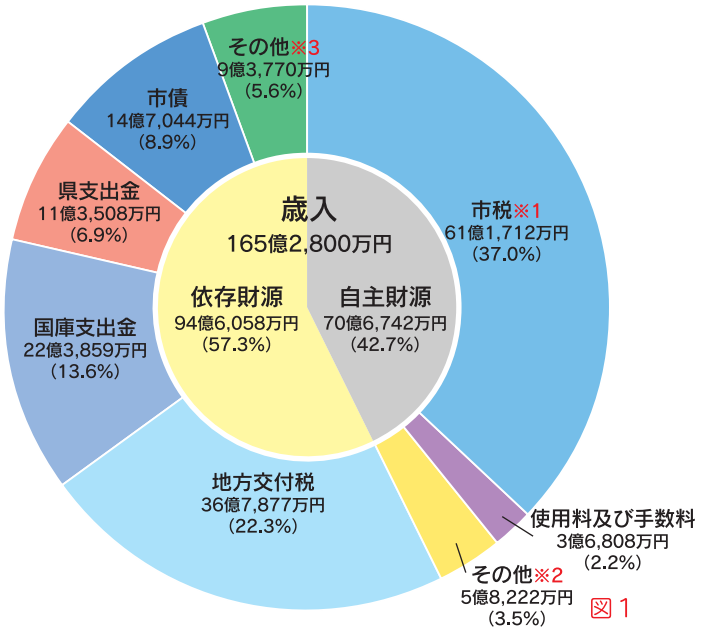


図１

※１〈市税の内訳〉
- 市民税……29億8,867万円
  - 個人……27億6,560万円
  - 法人……2億2,307万円
- 固定資産税……25億8,850万円
- 軽自動車税……8,695万円
- 市たばこ税……4億5,300万円

※２〈自主財源：その他の内訳〉
- 分担金及び負担金……3億254万円
- 財産収入……2,990万円
- 寄附金……385万円
- 繰入金……3,451万円
- 諸収入……2億1,142万円

※３〈依存財源：その他の内訳〉
- 地方譲与税……2億3,100万円
- 利子割交付金……3,500万円
- 配当割交付金……670万円
- 株式等譲渡所得割交付金……200万円
- 地方消費税交付金……4億5,000万円
- ゴルフ場利用税交付金……2,000万円
- 自動車取得税交付金……8,200万円
- 国有提供施設等所在市町村助成交付金…700万円
- 地方特例交付金……9,200万円
- 交通安全対策特別交付金……1,200万円

用語解説

◆**市税**
皆さんから市に納めていただいた税金（市民税・固定資産税等）

◆**使用料及び手数料**
あすてらすや運動公園などの使用料および住民票などの手数料

◆**地方交付税**
国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

◆**市債**
事業を行うために市が借入れるお金

◆**自主財源**
市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金

◆**依存財源**
国・県などの意志により交付されるお金

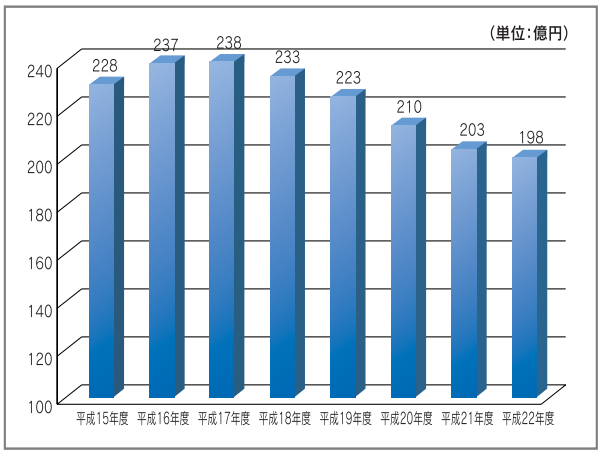
◆**骨格予算**
市長選挙などが行われる場合に編成される、義務的な経費を中心とした予算

◆**特別会計**
特定の歳入で特定の支出にあてて運営する会計

当初予算規模

◇**一般会計**　165億2,800万円(2.4%増)
◇**特別会計**　113億2,231万3千円(0.2%増)
（内　訳）
・国民健康保険事業特別会計　58億3,363万5千円（2.1%増）
・老人保健事業特別会計　2,346万1千円（49.7%減）
・後期高齢者医療特別会計　7億4,241万6千円（17.0%増）
・介護保険事業特別会計
　保険事業勘定　27億4,552万3千円（4.3%増）
　介護サービス事業勘定　2,028万7千円（1.1%減）
・下水道事業特別会計　19億4,719万8千円（13.0%減）
・住宅新築資金等貸付事業特別会計　979万3千円（5.2%減）
◆**予算総額**　278億5,031万3千円(1.5%増)
※(　)内は前年度比増減率。ただし一般会計のみ前年度6月補正後予算額を使用。

市債残高の推移（一般会計）



平成17年度が、238億円と残高のピークでしたが、現在は毎年の発行額を抑えて残高を減らし、財政の健全化を図っています。本年度は平成5年度以来、17年ぶりに200億円を割る見込みです。

一般会計・歳出

●目的別歳出（図2）
社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が3割を占めています。

●性質別歳出（図3）
義務的経費（支出が義務付けられ任意に削減できない経費）である「人件費」・「扶助費」・「公債費」の合計が、54.3%と全体の半分以上を占めています。

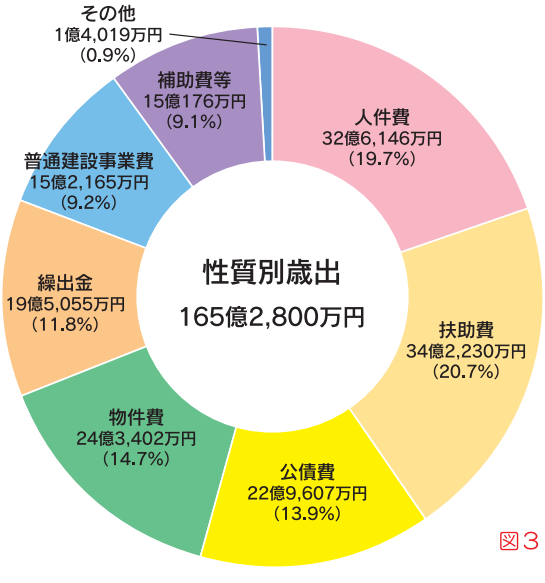


図3

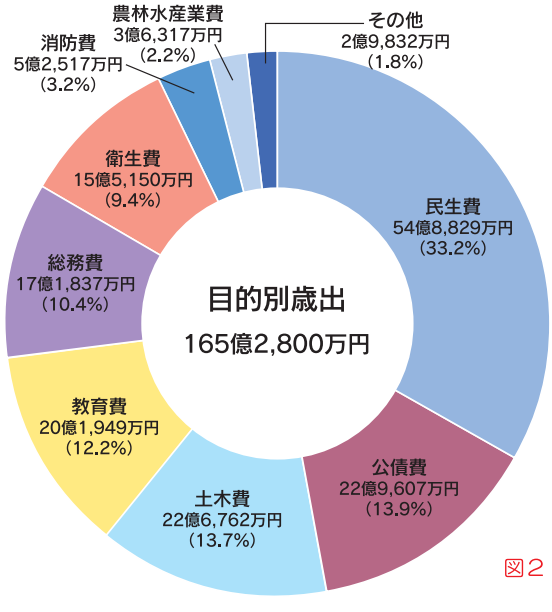


図2

◆臨時財政対策債
地方交付税の不足額の一部を補うため、国にかわって市が行う借金。後年、返済額が交付税に上乗せされる

～目的別歳出～

◆民生費
福祉全般の事務・事業に使うお金

◆公債費
借入れたお金を返済するためのお金

◆教育費
小・中学校の運営費用や公民館、図書館等教育全般の事務・事業に使うお金

◆土木費
都市基盤整備や道路、公園、河川などの維持管理・改良などに使うお金

◆総務費
課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金

◆衛生費
感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ゴミ処理などに使うお金

～性質別歳出～

◆人件費
職員や特別職の給与、議員および各種委員会委員の報酬に使うお金

◆扶助費
生活保護費、子ども手当、医療費などに使うお金

◆物件費
委託料、光熱水費、備品購入費等に使うお金

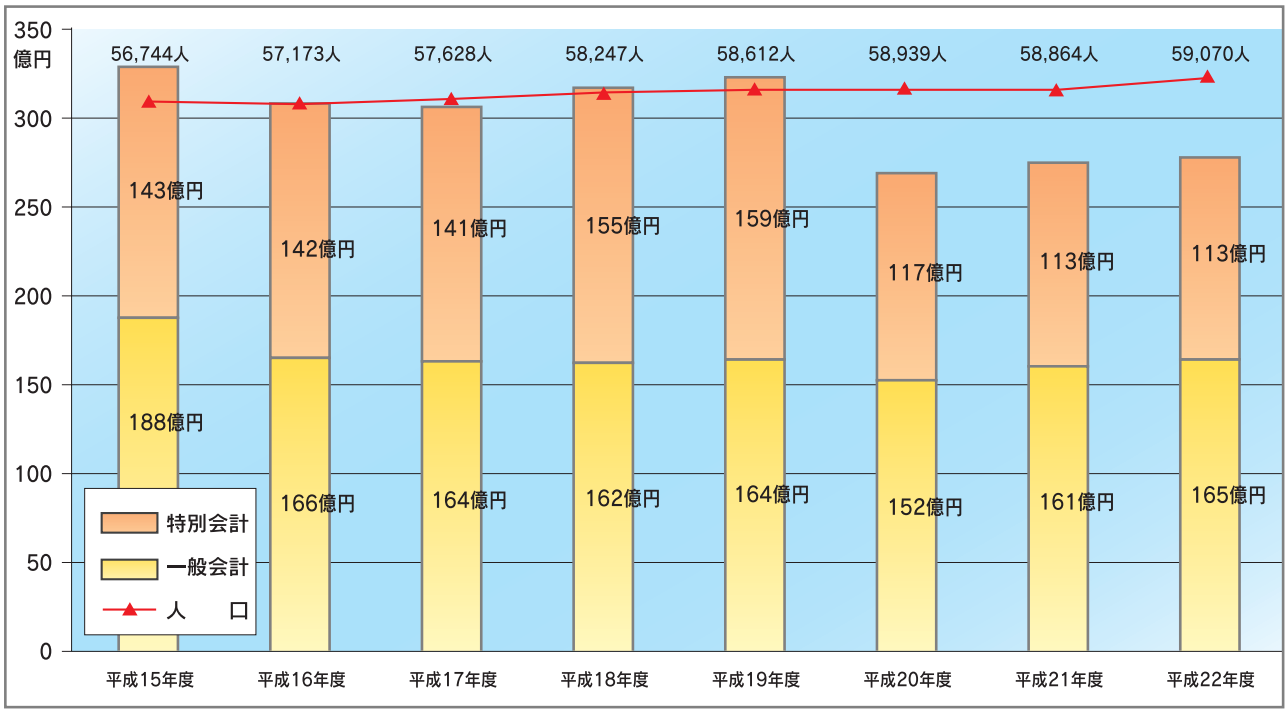
◆補助費等
団体への補助金や負担金に使うお金

◆繰出金
各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金

◆普通建設事業費
道路・橋梁などの整備や公共施設の新設増改築などに使うお金

人口と予算の推移

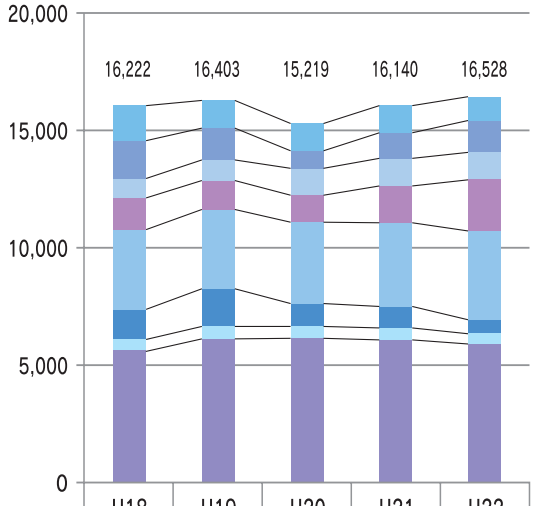
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は、6月補正後（肉付け後）予算を使用
（人口：各年度４月１日現在、ただし平成22年度のみ３月１日現在）



予算の推移

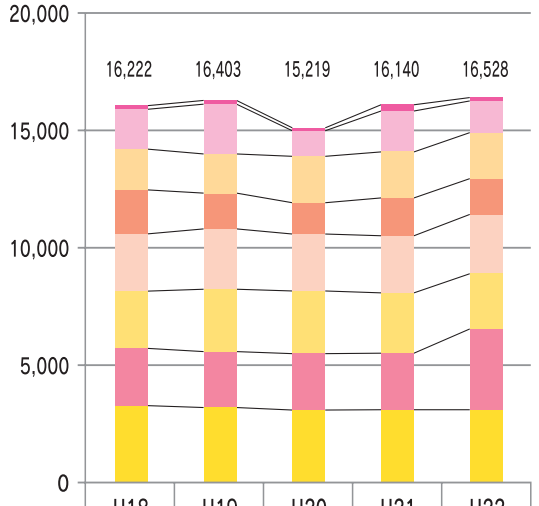
歳入では微増していた市税が、景気の動向を反映して平成 21 年度より減少に転じ、国庫支出金および地方交付税が増えています。歳出では医療費、子ども手当てなどにあたる扶助費が大きな伸びを見せています。（一般会計当初予算が骨格予算の場合は、６月補正後（肉付け後）予算を使用）

【歳入】　単位:百万円



	H18	H19	H20	H21	H22
その他（依存財源）	1,545	1,077	1,088	1,067	938
市債	1,682	1,471	942	1,209	1,470
県支出金	735	870	1,106	1,188	1,135
国庫支出金	1,403	1,310	1,104	1,543	2,239
地方交付税	3,216	3,175	3,255	3,483	3,679
その他（自主財源）	1,463	1,767	974	951	582
使用料及び手数料	350	373	387	384	368
市税	5,828	6,360	6,363	6,315	6,117

【歳出】　単位:百万円



	H18	H19	H20	H21	H22
その他	129	119	112	330	140
普通建設事業費	1,926	2,291	1,260	1,793	1,522
繰出金	1,684	1,683	1,911	1,944	1,951
補助費等	1,891	1,596	1,395	1,619	1,502
物件費	2,320	2,302	2,218	2,271	2,434
公債費	2,394	2,610	2,589	2,421	2,296
扶助費	2,384	2,417	2,411	2,468	3,422
人件費	3,494	3,385	3,323	3,294	3,261

主な事業について

都市基盤づくり

道路・交通網

・二森・八坂 34 号線（味坂校区幹線）道路整備事業

消防・防災

・消防施設整備事業
（第 3 分団格納庫建設・消防ポンプ自動車購入）

▲第 3 分団消防ポンプ自動車

▲健康づくり教室

健康と福祉づくり

福祉

・地域子育て支援センター事業
・子ども手当支給事業

人権・同和対策

・人権・同和対策推進事業

保健活動

・市民の健康づくり支援事業
・女性特有のがん検診推進事業　など

活力ある産業づくり

農業

・水田農業担い手機械導入支援事業
・ため池整備事業（丸山地区、西島地区など）

商業

・まちの元気再発見事業
・小郡市商店街活性化がんばろう会事業
・コミュニティバス運営協議会費

▲市内の飲食店などを紹介しているミ･シ･ラ･ン小郡

▲大原小学校で行われた読み聞かせ

教育と地域文化づくり

学校教育

・小中学校等校舎耐震補強事業
（味坂小、小郡小、立石中、三国幼稚園）
・小学校第 1 学年 35 人学級体制整備事業

生涯学習

・「子ども読書」の街づくり推進事業

文化財

・小郡市内伝承緊急調査事業

快適な居住環境づくり

環境衛生対策

・大原地区排水路整備事業

環境保全

・小郡市地域省エネルギービジョン策定事業

下水道

・公共下水道整備事業（下岩田、上西、二森、古飯、二タ地区）

共に創るまちづくり

市民参画

・インターネット議会映像配信事業

行財政運営

・第 5 次小郡市総合振興計画策定事業
・コンプライアンス委員会費